

## 新型コロナウイルス感染症対策本部会議議事録（第22回）

### 日時

令和2年8月6日（木） 16時00分～16時20分

### 場所

全員協議会室

### 報告案件

- ・草津市における新型コロナウイルス感染症患者の判明状況について（報告）  
新型コロナウイルスに感染した患者の集団発生（8月5日）

### 出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 総合政策部長、危機管理監、草津未来研究所・経営戦略担当理事  
総務部長、生活安心課長、環境経済部長、健康福祉部長、  
子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、  
上下水道部長、  
議会事務局長、教育委員会教育部長、教育委員会教育部理事  
西消防署長、南消防署長

### 協議内容

#### 議事

#### ○報告事項

「草津市における新型コロナウイルス感染症患者の判明状況について」

#### 【市長】

「新型コロナウイルスに感染した患者の集団発生（8月5日）」

草津市内において、南草津病院にて、9名のクラスター事案が発生したので、昨夜、緊急に幹部会を開催し、市民に向けてのメッセージを出した。

今日は、新たに2名の看護師の方の感染も判明している。情報の共有と対策について協議するため、本会議を開催した。

【危機管理監】

資料の説明。

【市長】

付け加えると、昨日現在では、判明者が県内では236名、草津市で48名となっている。今日は、新たに6名の感染が判明して、242名となっている。そのうち、2名が南草津病院の看護師で、うち1名が草津市在住の方である。

なお、入院患者については、本来の住所地は、市外の方も含まれるが、入院されているので、草津市でのカウントになる取り扱いである。今後さらに、PCR検査を進めると病院の広報資料にはあるし、抗原検査で陰性であっても、PCR検査で陽性となる方もいる。また、リハビリテーション病棟以外にも、感染が広がる可能性もある。濃厚接触者への感染も想定される。推移を注視しなければならない。大変厳しい状況である。市民への注意の喚起をより一層進めなければならない。

3. その他

【危機管理監】

お盆期間の市民へのメッセージについて、国県などの情報を織り交ぜて、発出予定である。

【健康福祉部長】

甲賀市でのクラスター事案において、施設への誹謗中傷が多く寄せられていると聞いている。メッセージの中に、盛り込む必要がある。

【市長】

昨日のメッセージでも言及をしているが、重要なことであるので、今日付のメッセージにも強めの表現で再度発出する。

【市長】

お盆期間を迎えるにあたり、職員向けのメッセージも明日付で発出する。

【総合政策部長】

内容は、職員の帰省や会食について、不要不急の旅行や大人数での会食を控えるように、といったものを予定している。

職員一丸となって、感染拡大防止の取組を行う。

【市長】

南草津病院においても、対応を全力で当たられているところである。滋賀県や病院と連携して、クラスターの封じ込めを図りたい。今後も推移については、滋賀県からの情報をいち早く、正確に取り入れながら、対応をしていきたい。

○閉会

以上